

【Beyond COVID-19】
ひがし北海道観光
《第4の開国》とともに考える
大逆転の可能性!

脱ゴールデンルート・脱爆買い・脱都会・脱炭素

自然志向・サステナブル・リアル北海道

コロナ前夜までの観光成果を検証し、
《第4の開国》前に戦略的攻めの体制を構築!

1月28日(金) 13:00~16:00 於 鶴雅ウイングス&オンライン

【次第】

13：00～16：00(予定)

○会長挨拶 ひがし北海道自然美への道DMO 会長 上野洋司

○基調講演 『第4の開国に備えこれまでのひがし北海道観光の検証から
戦略的体制を整える』

北海道大学国際広報メディア観光学院 准教授 石黒侑介氏

○問題提起 北海道運輸局国際観光課 課長 山崎貴志氏

ひがし北海道自然美への道DMO 専務理事 野竹鉄蔵

○パネルディスカッション 『第4の開国前のひがし北海道観光課題』

- ・ 北海道運輸局国際観光課 課長 山崎貴志氏
- ・ 北海道エアポート(株)観光開発課 課長 森裕一氏
- ・ 帯広市経済部観光交流室 室長 加藤帝氏(とちか観光誘致空港利用推進協)
- ・ 鶴雅リゾート(株) 代表取締役社長 金子力氏
- ・ 道東観光開発(株) 代表取締役社長 高橋晃氏

○アドバイザー 北海道大学 准教授 石黒侑介氏

○ファシリテーター 野竹鉄蔵

【講師プロフィール】

石黒侑介

北海道大学大学院

メディア・コミュニケーション研究院／国際広報メディア・観光学院 准教授
(スペイン・バルセロナ大学ホテル・観光学院連携客員教授)

専門：観光地経営論（観光組織、観光政策）

略歴：

メキシコ・イベロアメリカーナ大学国際関係学部を経て、
横浜国立大学国際社会科学研究所国際関係法専攻開発協力コース修了。
財団法人日本交通公社（現・公益財団法人日本交通公社）にてインバウンド・ツーリズム推進に関する中央官庁、地方自治体の調査事業・研究に従事。

2014年4月北海道大学着任。

2017年9月よりスペイン・バルセロナ大学ホテル・観光学院連携客員教授を兼務。

主な公職：

- ・札幌市「観光振興に係る新たな財源に関する調査検討会議」副委員長
- ・ニセコ町観光審議委員
- ・一般社団法人丘のまちびえい活性化協会（観光庁登録DMO）アドバイザー
- ・一般財団法人八重山ビジターズビューロー（観光庁登録DMO）有識者会議委員
- ・公益財団法人はまなす財団「地域の持続的発展を牽引する新たな観光協会のあり方に関する研究会」座長
- ・北海道運輸局「大規模地震等に備えた外国人観光客への情報集約・提供方法に関する実証事業」に係る検討会・有識者／座長
- ・国連世界観光機関（UNWTO）観光都市パフォーマンスコンサルタント

主な著書・共著・分担執筆：

- ・「日本版DMOの諸相と展望」『CATS叢書——観光創造学へのチャレンジ』（北海道大学観光学高等研究センター）（2017）
- ・「観光振興がもたらす不幸——マーケティング論から定義するDMOの意義」『フィールドから読み解く観光文化学—「体験」を「研究」にする16章』（ミネルヴァ書房）（2019）
- ・「公民連携からとらえる『日本版DMO』の課題と可能性」『アド・スタディーズ』（公益財団法人吉田秀雄記念事業財団）（2019）
- ・『CATS叢書スペインの取り組みから占う北海道のDESTINATION・マネジメント』（北海道大学観光学高等研究センター）（2021）